

小型水耕栽培ユニットのご案内

お天気の影響を受けず365日、無農薬で安心、綺麗な野菜を収穫できます

Ver.20190707

■栽培出来る野菜：「リーフレタス類・ハーブ類」イチゴなども栽培可

■収穫量：リーフレタス例

①発芽ベッド4週間に1回150種、種蒔きし2週間後に栽培パネルに移植します。

②2週間後に144株の半分をベビーリーフとして収穫 72株×10g≒0.72Kg

③更に2週間後に72株のリーフレタスとして収穫 72株×80g≒5.7Kg

稼働初回のみ種蒔きから最終収穫まで56日間で推定6.42Kgを収穫

④その後

4週間毎に推定6.42Kgの収穫サイクル

■栽培経費 年間：約77,000円 月額：約6,500円 フル稼働時

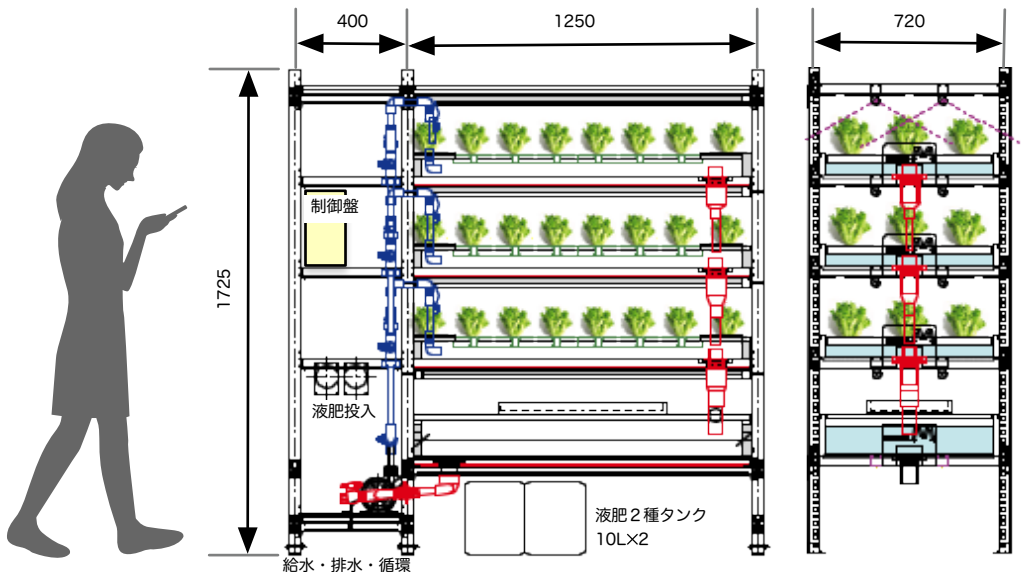
消費電力見込=2,600KW程度×電気料単価@27 円/KW 70,200円/年

+水道使用量見込=1.6t程度×水道料単価@500円/t 800円/年

+栽培資材（ウレタンマット・種子・肥料）6,000円/年=77,000円

■希望販売価格 100万円～

*本ユニット以外の水耕システムに関するご相談も承ります



①設定周期（例4週間）に1回、全排水・給水（手動・自動切替可）栽培する野菜に適したEC値（肥料濃度）、pH値（オプション）に自動調整します。

②養液が滞留しないよう循環させ空気を送ります。

③水温計測（オプション）

④養光LEDをタイマーでON/OFF制御（最小15分間隔設定可能）

⑤CO2濃度を自動調整（オプション）CO2ボンベが必要

⑥温湿度計測（オプション）

⑦照度計測（オプション）

■計測

①上限水位:DI1

②最下限水位:DI2

③自動・手動モード切替SW:DI3

DI4～DI6予備

④水温計測:I2C計測

⑤EC（肥料濃度）計測:I2C計測

⑥pH計測:I2C計測

⑦CO2計測：無線子機

⑧温湿度計測：無線子機

⑨照度計測：無線子機

■制御

①循環ポンプ:Ry1

②給水電磁弁:Ry2

③排水電磁弁:Ry3

④液肥AB投入ポンプ:I2C

⑤養光LED25W×6本:Ry4

⑥開始表示LED:Ry5

⑦CO2制御：Ry6

栽培用計測制御装置WebUI例



栽培棚養液量=27L/段×3段=81L

+タンクベッド養液量=68L

ユニット最大養液量=149L